

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームとしての独自のスローガンが決まっていないため、職員間で意思統一が図れていない	こもれ陽栗田のスローガンを決定し職員が周知することで、意思統一ができる	・職員全体会議でホーム独自のスローガンを決定する。具体的で簡潔なものにする。 ・職員会議、日々の申し送り等の場でもスローガンを口に出し意識を高める。	3ヶ月
2	26	ケアプラン作成のために職員がきちんと関わっていないため、ケアプランに基づいたケアの統一ができていない。	職員の意識の向上と利用者ひとりひとりの個別のケアを目指すために、アセスメント、ケアプラン、モニタリングは職員全員で行なう。	・利用者の言葉、態度、つぶやき、様子、又は聞き取った話など日常の中でモニタリングする。できるだけ具体的に記録し、状態の把握と職員間で情報を共有する。 ・居室担当者を中心に職員全体でケアプランを作成する。	12ヶ月
3	36	プライバシーを損ねるような言葉掛けや対応が見受けられる	人間対人間の暖かい関係性+プロとしての冷静な対応	・基本的に敬語を使う。 ・プライバシーを損ねないために大声での話のやり取りをしない。 ・接遇の研修を開催する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。